

2018 年度
マンスリーレポート No. 40

7月3日、教育主任会議で「診療参加型臨床実習」(コアカリ抜粋資料)を配布した。

7月9日、柏木が教務委員会で「学生による講義資料の大量印刷」を問題提起した。

7月10日、柏木の「電子シラバス(Moodle)への資料提示について」を教授会議に提出し、同時に「印刷不可のPDF作成法(WINDOWS)」をPDF(印刷可)で作成して教務課に提出した。

7月11日、教授会議で「医学教育研究センター国際交流部門」の設置が承認され、部門長は溝口充志教授、副部門長は溝口恵美子准教授と山田 圭准教授に決定した。

7月12日、柏木が「PCC-OSCEのための動画配信システム」をMoodleの中に新設した。

7月17日、PCCE委員会で教育Cとトレセンが担当する演習プログラムを提示した。

7月22日、医学部医学科オープンキャンパスで安達が「横倉義武会長講演会」(筑水会館)、山田と片山が「クリニカルスキル体験」(トレセン)を担当した。

7月23日、教育評価委員会で卒業生アンケートが議論され、新臨床研修制度(2004年～)の卒業生の就業状況(病院や診療科と入局先)を教育Cで調査することが決まった。

7月26日、片山が文部科学省 私立大学研究ブランディング事業採択記念「医療と社会をつなぐ」で「研究事例紹介：医療用Hybrid VRの開発と新しい取り組み」を講演した。

7月28日、第6学年のPCC-OSCE(臨床実習後OSCE、昨年までAdvanced OSCE)が共用試験トライアルとして実施され(9～18時)、SP会の方々が模擬患者として参加してくださった。

7月30日、第5学年の中間試験(国試過去問から教育Cが出題)が新しいコンピューター実習室(基礎3号館1階)で初めて実施され、柏木・山田・安達が現場で対応した。

7月31日、総合試験CBT-A/B(第4学年の3月と第5学年の8月)委員会で、国試過去問の出題(140問)と講座担当問題(260問)のチェックを教育Cが担当することになった。

その他、電子シラバスデータベースサーバーのスレーブ(代償)サーバーを新規に構築し、電子シラバスの冗長性(余裕)を増やすとともに、来年度のシラバス作成に着手した。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

7月4日、急変対応シミュレーションβテスト(看護部)

7月7日、院内認定IVナースインストラクターコース演習(看護部)

7月12日、ハイブリッドシミュレーター機器説明会(看護部)

7月14日、院内認定クリティカルケアコース演習(看護部)

7月18日、19日、OSCEトレーニング・救急蘇生指導(医学科)

7月22日、オープンキャンパス(医学部)

7月23日、24日、OSCEトレーニング・救急蘇生指導(医学科)

7月26日、自己啓発セミナー(二次救命処置)(救急看護認定看護師)

7月29日、呼吸リハビリ・シミュレーション学習会(看護部)

文責：安達洋祐